

(令和3年4月試験研究業務月報)

試験研究課題：アズキ機械化栽培での難防除雑草の総合防除体系の確立
(令和2年度「豆類振興事業助成金」)

情 報

現地アズキほ場での外来ホオズキ類^{※1}に対する 雑草防除体系の確立

京都府内のアズキ栽培ほ場では、防除が困難な外来ホオズキ類による雑草害が広がっています。そこで、当センターでは外来ホオズキ類に対して、初期除草剤の体系処理^{※2}に中間管理技術^{※3}を組み合わせた雑草防除体系を確立しました。

昨年度、外来ホオズキ類の防除体系の現地試験を南丹及び中丹地域で実施しました。新型コロナウイルスの影響で時期が遅くなりましたが、3月中旬から4月中旬に現地関係者に試験結果を報告しました。協力いただいた農業者からは、「効果的な除草方法がわかった」「雑草防除体系を実施したところは外来ホオズキ類が減少した」等の意見が聞かれました。

今年度は、タスクチーム活動を通じて、確立した雑草防除体系の普及と定着を進めていきます。

※1 外来ホオズキ類：外国から侵入したナス科ホオズキ属の雑草で増殖力が強い

※2 初期除草剤の体系処理：トリフルラリン乳剤（粒剤）散布後にイマザモックスアンモニウム塩液剤を散布する処理

※3 中間管理技術：除草カルチ処理や除草剤の畦間散布処理のことで、アズキの生育期間中に行う防除技術



関係者に試験結果を報告

農 林 セ ン タ ー